



# 技術開発を加速

## 技研西日本試験室完成

大林道路

大林道路は、兵庫県加東市に建設を進めていた技術研究所西日本試験室が完成した写真。18日に黒川修治社長、施工会社である花谷建設の花谷尚嗣社長らが出席し、竣工式を開いた。

同試験室はこれまで、同社門真アスコン（大阪府門真市、

大林道路・NIPPON共同企業体）の試験設備を使用して業務を行っていたことから、各試験業務の作業効率や従業員の作業環境を改善する必要性があった。

新設に際しては、同社東条アスファルト混合所（兵庫県加東市）の敷地内に移転し、

最新の試験設備を導入。西日本地域における技術開発のスピードアップや大学・民間企業との共同研究を促進するほか、試験業務の効率化を図る。

また、アスファルト混合所に従事する品質管理担当者の研修・教育の拠点とし、従業員の育成とスキル向上をめざす。そのほか、従業員の作業環境改善のため、シャワールームなどを設置している。規模はS造2階建て、延床面積は541・15平方メートル。

